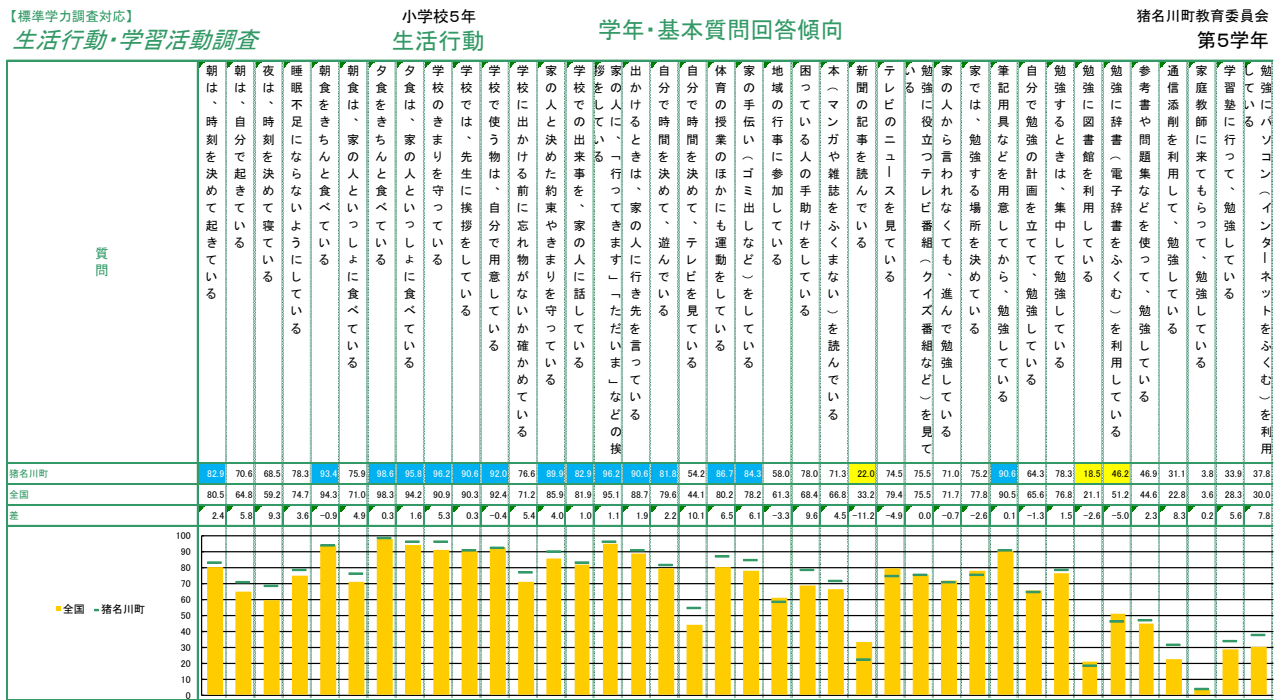


令和4年度質問紙調査による結果（猪名川町立小学校）

【調査の主旨】

子どもたちの学力を左右するのは、単に学校の授業だけにとどまらず、学校や家庭での過ごし方など日常生活や自尊感情等が大きく影響すると考えられます。日常の生活実態をアンケート調査して、規律ある生活、また自分をコントロールできる生活ができるように、普段の生活を見直すよう調査しました。

■日常生活における基本質問の全国比較



☆町内の小学校5年生の児童の日常生活は、概ね良好な状況にあります。肯定的な回答は高い水準であり、日常生活の乱れは見られません。

○80%以上の肯定率で、全国比率から見ても高い肯定率にあるのは下記の項目です。

- ・朝は、時刻を決めて起きている＝82.9%
- ・朝食をきちんと食べている＝93.4%
- ・夕食をきちんと食べている＝98.6%
- ・夕食は、家の人といっしょに食べている＝95.8%
- ・学校のきまりを守っている＝96.2%
- ・学校では、先生に挨拶をしている＝90.6%
- ・学校で使う物は、自分で用意している＝92.0%
- ・家の人と決めた約束やきまりを守っている＝89.9%
- ・学校での出来事を、家の人に話している＝82.9%

- ・家の人に、「行ってきます」「ただいま」などの挨拶をしている＝96.2%
- ・出かけるときは、家の人に行き先を言っている＝90.6%
- ・自分で時間を決めて、遊んでいる＝81.8%
- ・体育の授業のほかにも運動をしている＝86.7%
- ・家の手伝い（ゴミ出しなど）をしている＝84.3%
- ・筆記用具などを用意してから、勉強している＝90.6%

○肯定率が低く、また全国的な比率から見て改善すべき項目もあります。

- ・新聞の記事を読んでいる＝22.0%（令和3年度 16.2%）
- ・勉強に図書館を利用している＝18.5%（令和3年度 14.3%）
- ・勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している＝46.2%（令和3年度 45.8%）

☆学校生活や家庭での様子は、全国平均と比較すると非常に良好です。学習活動に関する項目において、「新聞の記事を読んでいる」「勉強に図書館を利用している」「勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している」が全国平均より下回っていますが、令和3年度よりも肯定率が上がっており、改善が見られます。

生活行動と学力調査のクロス分析

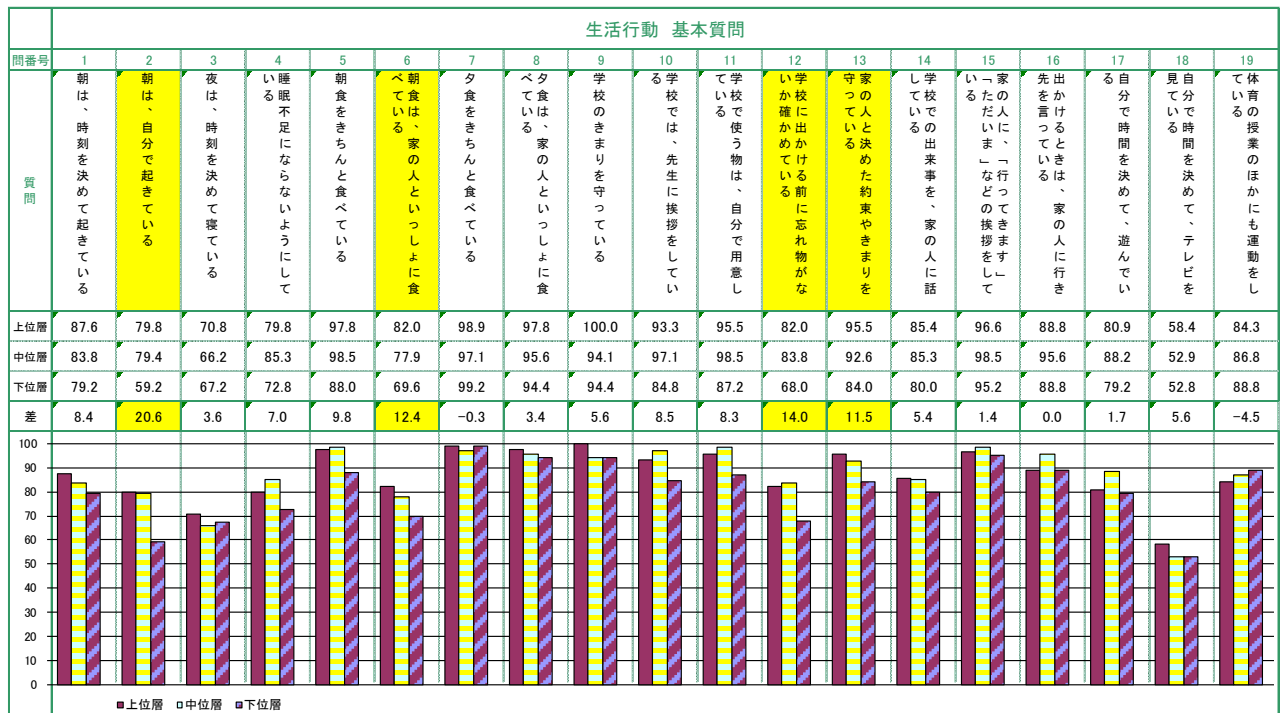
☆生活行動に関する質問は「学力調査の結果が良い児童ほど、自分をコントロールする行動や自分を高めようとする行動に対して肯定的である」との仮説に基づいています。学力の3階層（上位・中位・下位）と肯定率の関連性に着目して、調査結果を見てください。

【標準学力調査対応】
生活行動・学習活動調査

小学校5年
生活行動

学年・基本質問3階層回答傾向

猪名川町教育委員会
第5学年



※数値は肯定的に答えた児童の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。
 ※「生活行動」の「学年・基本質問3階層回答傾向」では、学年における「生活行動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけました。
 ※網のかけられた質問については、学年における「生活指導」の参考にしてください。

		生活行動 基本質問																		
問番号		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
質問		家でしている手伝い（ゴミ出しなど）を	地域の行事に参加している	困っている人の手助けをしている	本（マンガや雑誌をふくまない）を読んでいる	新聞の記事を読んでいる	テレビのニュースを見ている	勉強に役立つテレビ番組（クイズ番組など）を見ている	家で勉強している	家では、勉強する場所を決めている	筆記用具などを用意してから、勉強している	自分で勉強の計画を立てて、勉強している	勉強するときは、集中して勉強している	勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している	勉強に図書館を利用している	参考書や問題集などを使って、勉強している	通信添削を利用して、勉強している	家庭教師に来てもらって、勉強している	学習塾に行き、勉強している	勉強にパソコン（インターネット）を利用している
上位層		83.1	64.0	74.2	79.8	28.1	77.5	82.0	74.2	77.5	93.3	67.4	83.1	15.7	57.3	50.6	37.1	1.1	38.2	40.4
中位層		89.7	58.8	85.3	76.5	25.0	79.4	77.9	69.1	73.5	91.2	57.4	82.4	20.6	51.5	47.1	35.3	4.4	32.4	41.2
下位層		81.6	53.6	77.6	62.4	16.0	68.8	68.8	68.8	73.6	88.0	64.8	72.0	17.6	36.8	44.0	25.6	5.6	32.0	33.6
差		1.5	10.4	-3.4	17.4	12.1	8.7	13.2	5.4	3.9	5.3	2.6	11.1	-1.9	20.5	6.6	11.5	-4.5	6.2	6.8

※数値は肯定的に答えた児童の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。
※「生活行動」の『学年・基本質問3階層回答傾向』では、学年における「生活行動」の傾向を示し、肯定率が50%以下の数値に網をかけました。
※網のかけられた質問については、学年における「生活指導」の参考にしてください。

○質問項目で学力調査での上位層と下位層に10%以上の大きな差が出たものを列挙しました。

- ・朝は、自分で起きている＝学力上位層 79.8%は下位層より 20.6ポイント高い。
- ・朝食は、家の人といっしょに食べている＝学力上位層 82.0%は下位層より 12.4ポイント高い。
- ・学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている＝82.0%は下位層より 14.0ポイント高い。
- ・家の人と決めた約束やきまりを守っている＝学力上位層 95.5%は下位層より 11.5ポイント高い。
- ・地域の行事に参加している＝学力上位層 64.0%は下位層より 10.4ポイント高い。
- ・本（マンガや雑誌をふくまない）を読んでいる＝学力上位層 79.8%は下位層よりポイント17.4高い。
- ・新聞の記事を読んでいる＝学力上位層 28.1%は下位層より 12.1ポイント高い。
- ・勉強に役立つテレビ番組（クイズ番組など）を見ている＝学力上位層 82.0%は下位層より 13.2ポイント高い。
- ・勉強するときは、集中して勉強している＝学力上位層 83.1%は下位層より 11.1ポイント高い。
- ・勉強に辞書（電子辞書をふくむ）を利用している＝学力上位層 57.3%は下位層より 20.5ポイント高い。
- ・通信添削を利用して、勉強している＝学力上位層 37.1%は下位層より 11.5ポイント高い。

○質問項目で全ての層で50%以下の肯定率が出たものを列挙しました。

- ・新聞の記事を読んでいる
- ・勉強に図書館を利用している
- ・通信添削を利用して、勉強している
- ・家庭教師にきてもらって、勉強している
- ・学習塾に行き、勉強している

- ・勉強にパソコン（インターネットをふくむ）を利用している

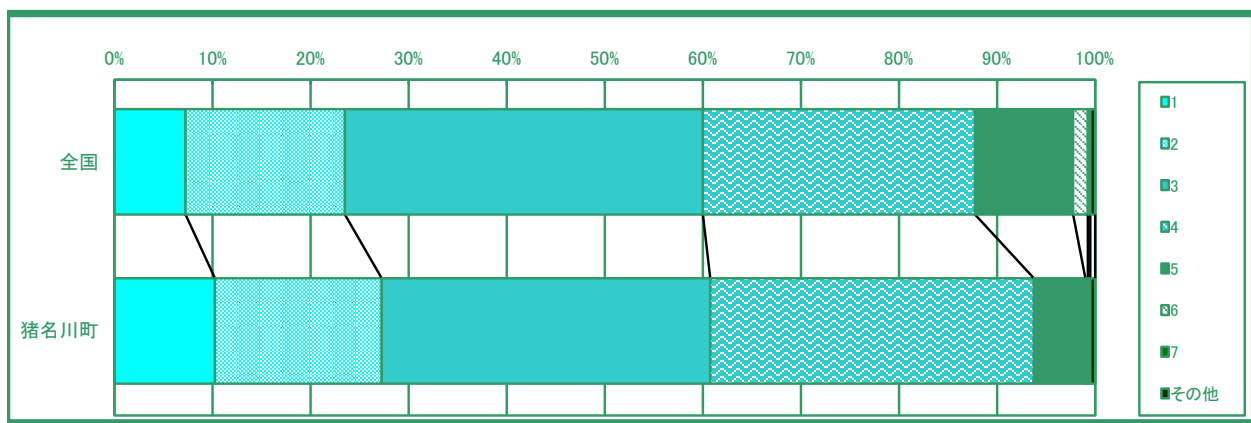
☆基本的な生活行動や学習状況と学力調査の結果層別データをクロスして、肯定率を比較した資料です。
グラフから明らかなように、大きなばらつきは見えないものの、概して上位層は規律ある生活を送っていることが分かります。

■ 発展質問回答状況

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

学校に行く日は、朝、何時ごろに起きますか

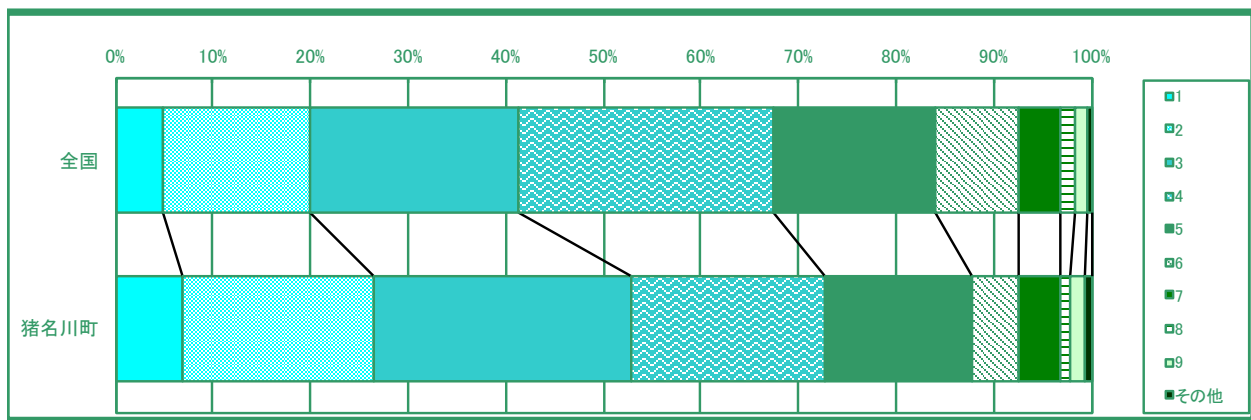
	1 午前6時より 前	2 6時ごろ	3 6時30分ごろ	4 7時ごろ	5 7時30分ごろ	6 8時ごろ	7 午前8時より 後	その他
全国	7.2	16.2	36.7	27.8	9.8	1.6	0.3	0.4
猪名川町	10.1	17.1	33.6	32.9	5.2	0.3	0.3	0.3



○93.7%（令和3年度 90.3%）の児童が7時ごろまでに起床しています。

学校に行く日は、夜、何時ごろに寝ますか

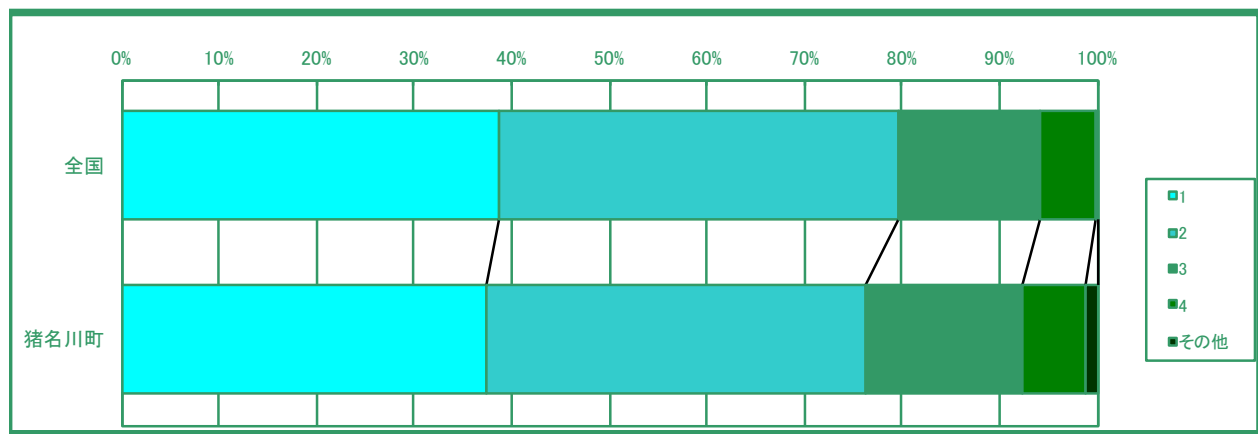
	1 午後9時より 前	2 9時ごろ	3 9時30分ごろ	4 10時ごろ	5 10時30分ごろ	6 11時ごろ	7 午後11時30 分ごろ	8 午前0時ごろ	9 午前0時より 後	その他
全国	4.9	15.0	21.5	26.2	16.5	8.5	4.4	1.4	1.3	0.4
猪名川町	7.0	19.6	26.2	19.9	15.0	4.9	4.2	1.0	1.4	0.7



○72.7%（令和3年度 72.6%）の児童が10時ごろまでには寝る習慣がついていて、全国平均 67.6%より早く就寝する傾向にあります。

学校が好きである

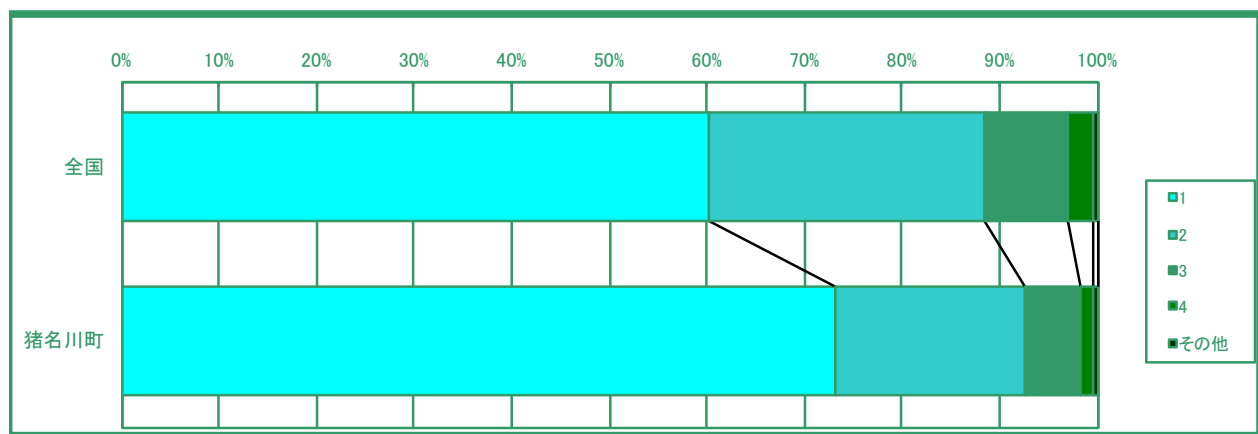
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまら ない	4 まったくあてはまら ない	その他
全国	38.7	41.1	14.3	5.7	0.2
猪名川町	37.4	38.8	16.1	6.6	1.0



○「学校が好き」と答えている児童は76.2%（令和3年度77.3%）と全国平均79.8%よりも下回っています。

自分が住んでいる地域が好きである

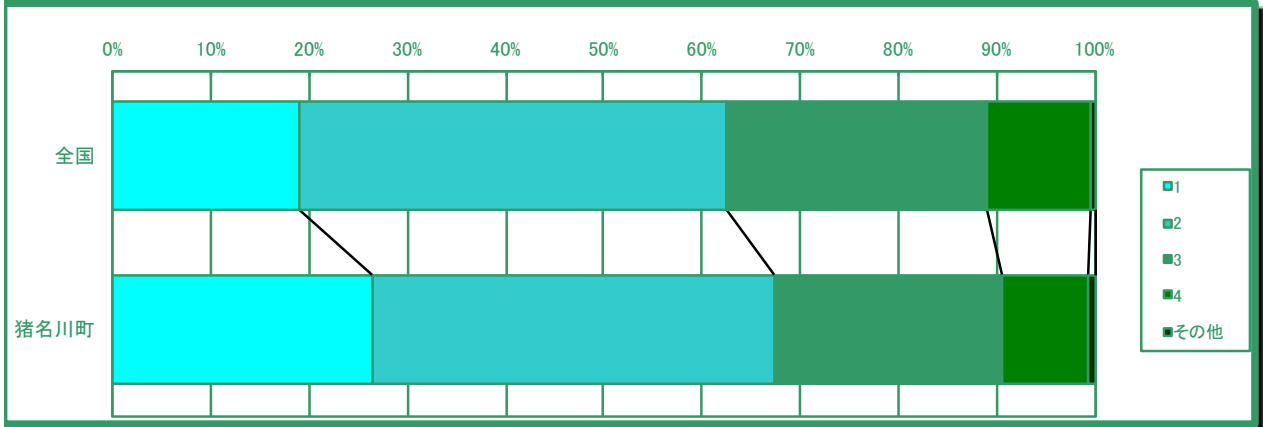
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまら ない	4 まったくあてはまら ない	その他
全国	60.2	28.2	8.6	2.7	0.3
猪名川町	73.1	19.6	5.6	1.4	0.3



○「猪名川町が好き」と答えている児童は92.7%と多く、令和3年度（90.7%）に引き続き地域全体で子どもたちを育てている環境であると予測でき、非常に喜ばしい状況です。

自分は、友だちから認められていると思う

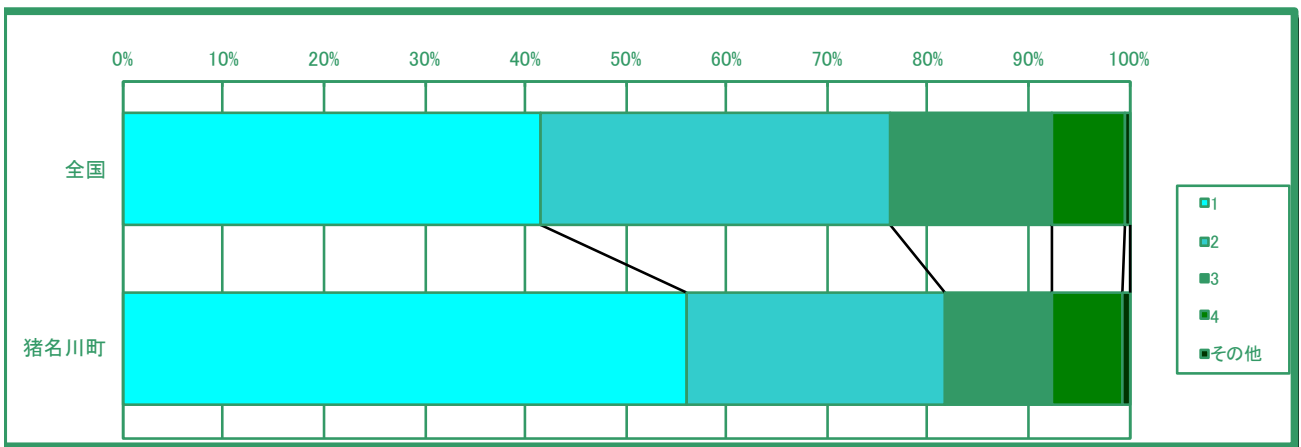
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはま らない	4 まったくあてはま らない	その他
全国	19.1	43.4	26.5	10.7	0.3
猪名川町	26.6	40.9	23.1	8.7	0.7



○友だちから認められている自己認識は67.5%（令和3年度66.7%）と全国平均62.5%と比較して高い傾向にあります。学級経営上も「他者を認め」「他者に認められる」関係は大切です。

自分は、家の人から認められていると思う

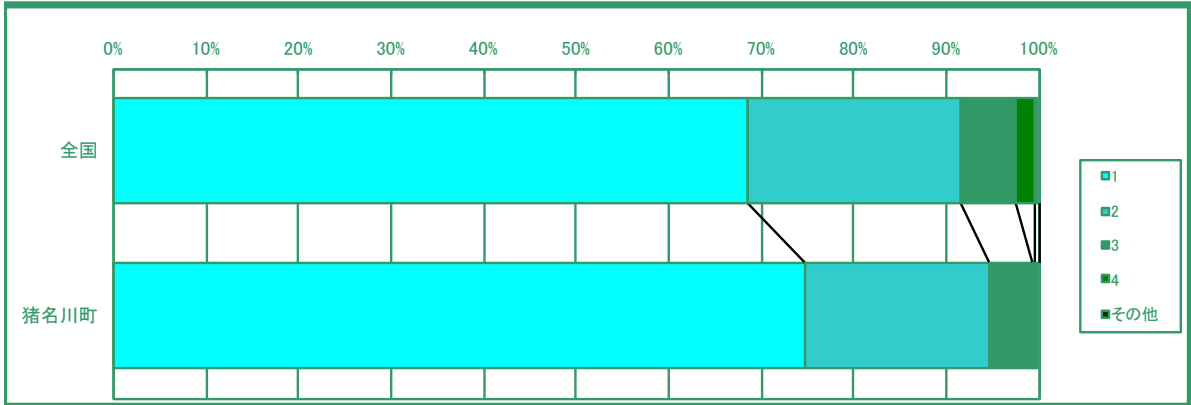
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはま らない	4 まったくあてはま らない	その他
全国	41.6	34.8	15.9	7.3	0.4
猪名川町	55.9	25.9	10.5	7.0	0.7



○家の人から認められている自己認識は81.8%（令和3年度78.8%）と全国平均76.4%よりも上回っています。多くの児童は、家庭での存在を大きく感じており、良好な状況にあります。

自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思う

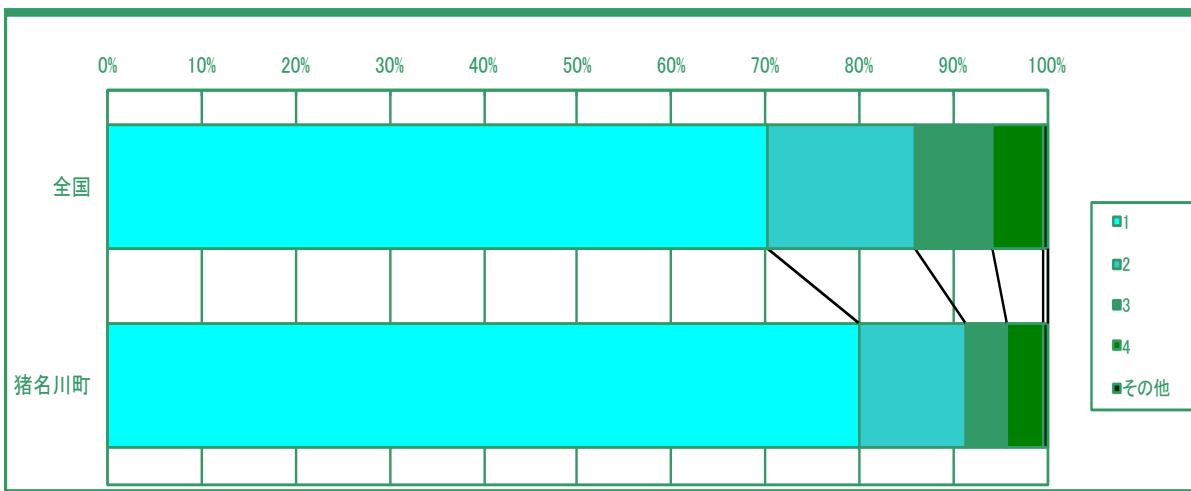
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	68.5	23.1	6.0	2.1	0.3
猪名川町	74.8	19.9	4.5	0.3	0.3



○「自分の力をできる限り伸ばしたい」と答えている児童は94.8%（令和3年度93.1%）と、全国平均91.6%よりも向上心が高い状況にあります。向上心は「生きる力」の根源で大切にしていきたいです。

将来の夢や目標をもっている

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	70.3	15.6	8.2	5.6	0.3
猪名川町	80.1	11.2	4.5	3.8	0.3



○「将来の夢や目標を持っている」児童は91.3%（令和3年度86.3%）と回答し、生き生きとした姿が想定されます。

■ 発展質問回答状況とクロス集計

【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

小学校5年

生活行動

		生活行動 発展質問								
問番号		43	44	45	46	47	48	49	50	51
質問		学校が好きである	ある自分が住んでいる地域が好きである	自分のことが好きである	自分には、良いところがあると思う	自分は、友だちから認められて	自分は、先生から認められて	自分は、家の人から認められて	自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思う	将来の夢や目標をもっている
上位層		77.5	92.1	71.9	74.2	69.7	67.4	79.8	98.9	93.3
中位層		85.3	98.5	75.0	80.9	72.1	64.7	82.4	98.5	89.7
下位層		69.6	89.6	61.6	62.4	63.2	60.0	83.2	90.4	91.2
差		7.9	2.5	10.3	11.8	6.5	7.4	-3.4	8.5	2.1

※数値は肯定的に答えた児童の割合を表しています。3階層の区分は、「標準学力調査」の評定に基づきます。肯定・否定に区分できない質問については、表示しておりません。

※上記の表は自己肯定感や郷土愛などの質問と学力との相関クロス集計です。

◎上位・中位層の児童ほど肯定的に回答しており、概ね下位層の児童と比べて肯定率が高いことがわかります。

◎「猪名川町が好きである」は、上位・中位・下位層とも肯定的に回答し、地域環境は良好です。向上心、将来の夢や目標を持っている児童は、全ての層で肯定率が高く良い傾向にあります。

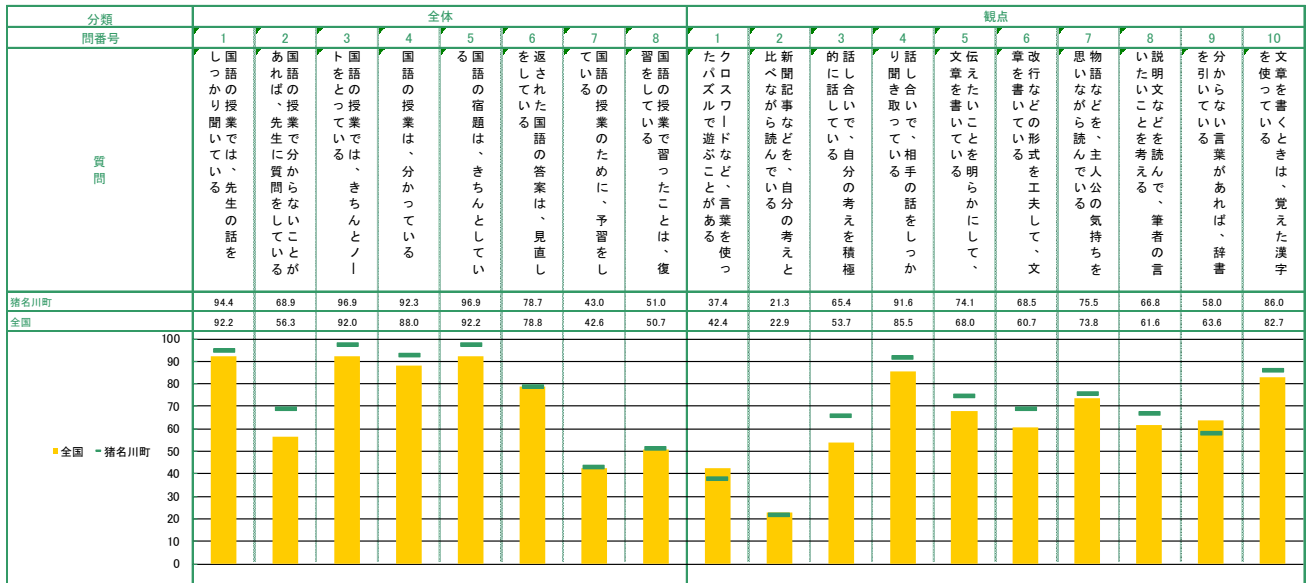
■学習活動調査（国語・算数）

【標準学力調査対応】
生活行動・学習活動調査

小学校5年
学習活動(国語)

学年・回答傾向

猪名川町教育委員会
第5学年



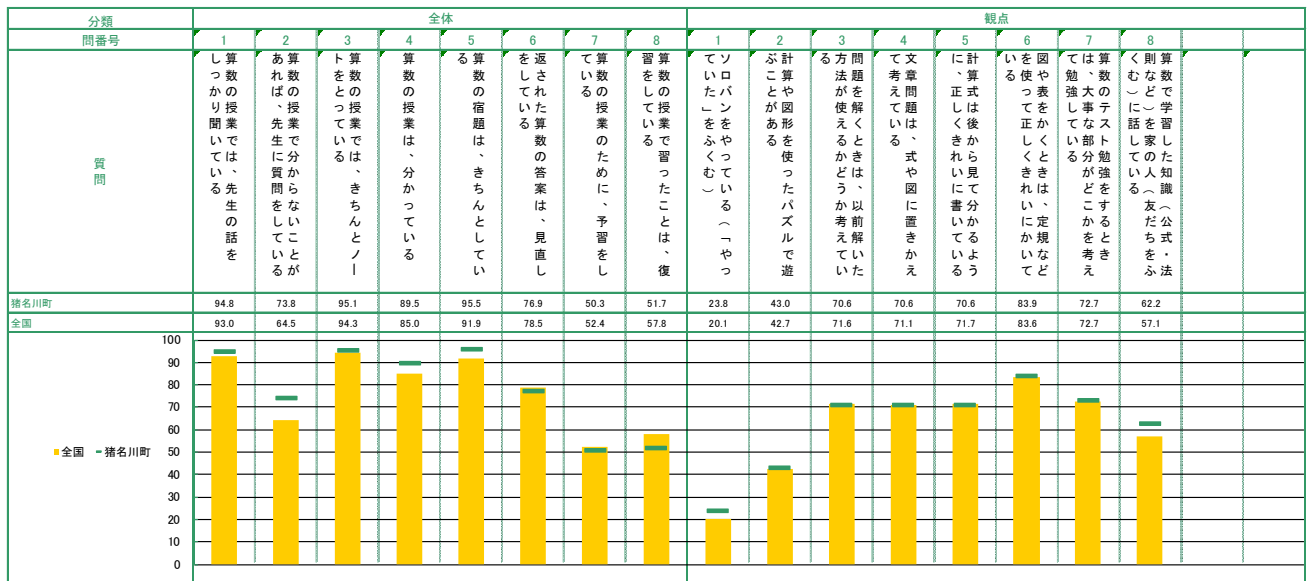
※数値は肯定的に答えた児童の割合を表しています。

【標準学力調査対応】
生活行動・学習活動調査

小学校5年
学習活動(算数)

学年・回答傾向

猪名川町教育委員会
第5学年



※数値は肯定的に答えた児童の割合を表しています。

◎国語・算数ともに学習活動状況は、良好です。「先生の話をしっかり聞いている」「きちんとノートをとっている」「宿題は、きちんとしている」児童は90%以上で、学習意欲が高い傾向にあります。

▼国語・算数ともに「授業は分かっている」児童は、全国平均より高い一方で、「復習をしている」児童(国語=51.0% 算数=51.7%)は、算数において全国平均を下回っています。「返された算数の答えは、見直しをしている」児童(76.9%)も全国平均より低く、授業で学習した後やテストを返却した後に、学習が定着しているか、自分の間違いを理解しているか確認する取組が必要です。

▼算数において「問題を解くときは、以前解いた方法が使えるかどうか考えている」「文章問題は、式や図に置き換えて考えている」が全国平均より少し低いことから、既習事項を新しい課題に応用する力や、主体的に課題解決に取り組む力に課題が見られます。